



地場企業の「やる気」を応援するーテクノポリス第二期計画

テクノポリス計画は、ハイテク産業、特にA、B、C、D産業の振興をてこに、産・学・行政が力を合わせて潤いと活力にあふれたまちづくりをめざしています。昭和五十九年から始まったこの計画では、テクノ・リサーチパークをはじめ、圏域への先端産業の進出などによって着実に進展しています。しかし、地域経済がいきいきとしたパワーを保って発展していくためには、企業が技術力を高めて発展していくことが大切です。昨年四月に承認されたテクノポリス第二期計画は、地場企業の技術力を高め、「起業化」を促すことをめざしています。

●「起業」化のために

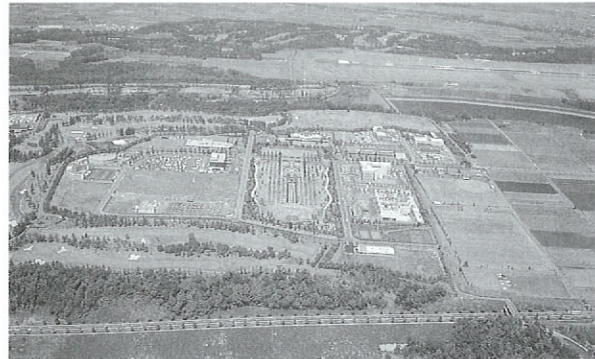
起業化のためには、研究開発が何より大切なことです。しかし、研究開発には多額な費用と優秀な人材が必要になっており、産、学、行政がプロジェクトを組んで研究開発を行う機会がますます増えてくると思われれます。このことによって、付加価値の高い新製品

の開発が可能になるのです。県では、このような起業化のための企業の「やる気」を積極的に応援します。

ここでは、テクノポリス第二期計画の主要事業について紹介します。

● 起業化を支援する 第二テクノパーク

熊本空港から北へ約九時菊池郡菊陽



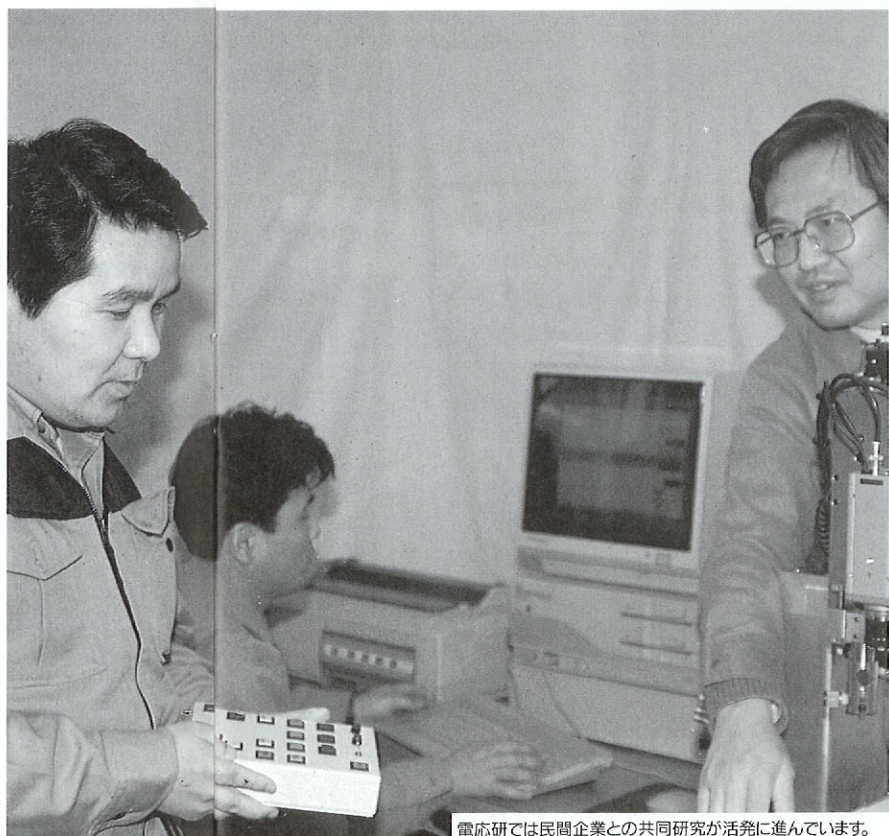
整備拡充が進むテクノリサーチパーク。

● テクノリサーチパークの整備、拡充

テクノポリスの中核的な研究開発拠点として整備を進めてきたテクノポリスセンターや電子応用機械技術研究所(電応研)、熊本大学地域共同研究センターを中心に先端産業の研究やソフトウェア開発の企業(一大学、十四企業)が立地し、順次操業開始しています。現在、パークの北側四・八畝に分譲用地の拡張を進めています。さらに、進出している企業や県民のみならずの利便や快適さを考えたサービス施設として銀行、郵便局、ショッピングセンター、駐車場などの施設整備を検討しています。

● 研究開発を支援します

「起業化」を進めるためには、第二テクノパークなどの場所の整備とともに研究開発力を高めるための指導、支援が必要です。テクノポリス財団では、テクノ大学などの人材育成と電応研による受託研究、共同研究、技術指導などを通じて支援しています。技術開発についての悩みがあればご相談ください。また、熊本大学地域共同研究センターとの連携や産学行政の技術研究会など財団の果たす役割はますます大きくなっています。



電応研では民間企業との共同研究が活発に進んでいます。

な・る・ほ・ど テクノポリス

■ A、B、C、D産業ってなに？

- 全国には、26のテクノポリス地域があります。それぞれの地域の特徴を生かした計画が進んでいます。熊本県のテクノポリスは、豊かな自然と水を活用したIC(半導体)産業や農林水産物に着目して、
 - A: **Automation** (応用機械産業) ロボット化など産業の自動化を進めます。
 - B: **Bio-technology** (バイオテクノロジー産業) 生物化学関係技術を活用したバイオテクノロジー産業を振興します。
 - C: **Computer** (電子機器産業) 半導体を活用した電子機器産業の高度化を進めます。
 - D: **Data-Processing** (情報システム産業) 情報システム産業を振興します。
- の4つの分野に力を入れて、工業だけでなく、農林水産業、福祉など幅広い分野に役立つことをめざしています。

■ 「起業化」ってなに？

- どんな大きな企業もはじめは小さな町工場の時があります。すばらしい技術と優秀な人材と発展しようとする意欲がうまくかみ合って企業は発展するものです。このような動きが「起業化」です。県はこのような「起業化」が進むのを積極的に支援します。たとえば、卵が「ひよこ」になるときの孵化器の役割と同じです。

データでみる 熊本テクノポリス

1 第一期計画の目標達成状況

	昭和55年 A	平成2年 実績 B	平成2年 目標 C	達成率 (B-C) (C-A)
工場出荷額(億円)	5,011	11,598	11,669	98.9
工場従業者数(人)	35,731	42,808	45,981	89.9
人口(人)	738,558	820,929	859,154	88.3

2 企業進出の状況

- S59~H3 105社
うち先端技術産業 18社

3 テクノポリスセンターの利用 (S61.11~H4.12)

- 来館者 314,000人
- 似顔絵ロボット 49,000人

4 テクノポリス財団の成果

- 熊本テクノ大学(S60~H4年度)
技術力、経営力、通信講座などを実施
延べ 171講座
受講者 7,500人
- 電応研の成果(S60.4~H4.12)
受託研究 48件
共同研究 6件
技術指導 32件
技術相談 122件
特許申請 48件
研修生 29名卒業し、全員県内就職

(具体的な研究開発の例)

- 熊本型木造住宅「郷の匠」CADシステム
- 小型3次元視覚センサー
ロボットの目の開発
- のり異物検査機
のりの異物を光センサーで選別

* 技術開発・技術相談は電応研へ

TEL096-286-3300
FAX096-286-9633